

講義コード	513151903	
講義名	体育実技 EF	
(副題)		
開講責任部署	幼児教育科 (短大)	
講義開講時期	前期	
基準単位数	1	
時間	0.00	
代表曜日	火曜日	
代表時限	2時限	
科目分類名	教養科目	
科目分野名	C群	
対象学部・年次	短期大学部・2年	
必須/選択	必修	
担当教員		
職種	氏名	所属
専任教員	福田 将史	経営学部
専任教員	教務委員会 (短大)	指定なし

授業の概要

授業の概要

①授業の方法

身体教育の一環として、体力の向上、健康促進を目標とし、運動やスポーツを通して安心・安全に幼児教育に取り組むことを理解する。準備運動や整理運動の重要性やストレッチの必要性を理解し、各種スポーツのルールや技能を習得し、幼児教育の現場に生かせる実践力を身につける。

②授業形態

実技

③アクティブラーニング

授業の最後に、ルールや技能についての質問受け、解説します。

④課題に対するフィードバックの方法

毎回、授業の初めにルール等の疑問点を解説します。

様々なスポーツを体験することで、楽しさ、ルール、マナー、チームワークの他、ストレス解消作用、健康への影響などを学習する。

授業の到達目標及びテーマ

現代社会においては、健康を維持・増進するために身体運動が不可欠である。楽しみながら身体を動かしストレスを解消するにはスポーツが最適である。体育実技では、教育的手段としてのスポーツを楽しみながら、効果的に技能を習得し、身体運動としての習慣化の基礎を作ることを学ぶ。

到達目標については、学習成果における①幼児教育者観 ②知識・技能 ③実践力と実務能力 ④人間性と協調性が該当する。特に②③④を重視する。

授業計画表

回	項目
第1回	第1回：ガイダンス (場所、服装、遅刻、授業の進め方、評価方法などについて)
第2回	第2回：ストレッチングと柔軟体操
第3回	第3回：バスケットボール① 競技の特色と基本動作の習得
第4回	第4回：バスケットボール② ルールを振り返り自分のプレーを再チェック
第5回	第5回：バスケットボール③ 技術向上の工夫に取り組む
第6回	第6回：バスケットボール④ ゲームの中で自分の動作を確認する
第7回	第7回：バドミントン① 競技の特色と基本動作の習得
第8回	第8回：バドミントン② ルールを振り返り自分のプレーを再チェック
第9回	第9回：バドミントン③ 技術向上の工夫に取り組む
第10回	第10回：バドミントン④ ゲームの中で自分の動作を確認する
第11回	第11回：ソフトバレーボール ゲームルールのもとで実践体験
第12回	第12回：バレーボール① 競技の特色と基本動作の習得
第13回	第13回：バレーボール② ルールを振り返り自分のプレーを再チェック
第14回	第14回：バレーボール③ 技術向上の工夫に取り組む

第15回	第15回：バレーボール④	ゲームの中で自分の動作を確認する
第16回	レポート課題提出	

授業時間外の学修

歩くこと、階段昇降、身体を動かすことなどを常に意識して日常生活を送ること。

次回の運動の内容、スポーツ種目の最新のルールを各自で調べ、授業の初めに説明できるようにしておく。必ず事前に準備学習（予習）として種目のルールを理解して授業に臨む。

実務経験の有無

ディプロマポリシーとの関連

ディプロマポリシー①③ 自律学習能力の修得	ディプロマポリシー② 専門的知識・技術の修得	ディプロマポリシー④ 分析・論理構成・表現力の修得	ディプロマポリシー⑤⑥ 問題解決能力・協働性の獲得
◎	◎	◎	○

ルーブリック

評価項目	優秀 (excellent)	平均 (average)	途上 (developing)	未達 (unachieved)
実技内容の理解 (予習も含む)	自ら進んで実技に関する内容を調べ理解できており、その内容を他者にも詳しく説明することができる	実技・実験に関する内容を調べ理解できており、その内容を他者にも概ね説明することができる	実技・実験に関する予習はやれているが、その内容理解はあいまいな点がある	実技・実験に関する予習が不足しているため、その補充を教員が助言している
レポート （レポート内容）	実技のテーマについて、データを正しく分析しながら詳細な考察をまとめている	実技・実験のテーマについて、データを分析しながら考察をまとめている	実技・実験のテーマについて、データを分析しながら考察をまとめているが、内容についてあいまいな点が少しある	データをもとにしたテーマについての分析がなされていないので、手厚い支援を行っている
レポート （主題の明確化）	レポートの根幹である主題が十分に明確になっている	レポートの根幹である主題が明確になっている	レポートの主題がなんとか読み取れる	レポートの主題が読み取れない

成績評価法（表形式）

	評価基準	備考
定期試験		
小テスト等		
成果発表		
授業への貢献度	50%	
レポート	50%	
その他		

課題へのフィードバック方法

定期試験や小テストの結果について	課題（レポート等）について	模擬授業、プレゼン、発言等について
------------------	---------------	-------------------

その都度解説、講評する	授業の冒頭で解説、講評する	その都度解説、講評する
ICTを活用した双方向型授業の内容		
用 用	チャット 掲示板の活 メール等の活	
アクティブラーニングの割合		
総授業時間数の60~100%程度のアクティブラーニングである		
アクティブラーニングの内容		
書く・話す・発表する等の活動におけるAL	経験値・技能を高める活動におけるAL	授業時間外におけるAL
グループワークのディスカッションやディベート（議論の場と時間） 小テストや授業内レポートの活用	フィールドワーク	授業後レポート
教科書		
必要に応じてプリントを配布したり、板書によって授業の内容を説明しながら進めていく。		
参考書		
インターネットで運動の内容やスポーツの最新ルールについて検索する。		
SDGsとの関連		
に 4. 質の高い教育をみんな		
特記事項等		
※ 授業での着衣は名前の確認できるものに限る。 (短大指定のジャージ、Tシャツ、短パン、体育館シューズなど) 【特記事項】 ①実務経験のある教員 なし ②ナンバリング LCU 2401 オンライン授業の実施方法 Teamsによる教材提供、リアルタイム授業、小テスト、レポート等、また、ハイブリッド式授業を行う。		
研究室（訪問先等）		
中央研究棟4階 430研究室（直接来室すること） 火、水、木、金が出校日です、火曜の5限目がオフィスアワーです。		
電話番号		
028-670-3780（研究室直通）		
授業用E-mail		
m-fukuda@sakushin-u.ac.jp		
成績評価法		
平常点（50%）技能レベル、取組み姿勢、授業態度（服装、私語、携帯使用含）から総合的に評価します。レポート（50%）の内容で評価します。 毎回授業の終わりに復習カードによる内容理解度確認の提出を求めるが、これも課題への取り組みとして成績評価に含まれる。		